

問1 縄文時代に広く行われていた交易を示す遺物として、十勝岳や和田峠などで産出する火山性の天然ガラスを原材料とし、弓矢の先端に装着して狩猟に用いられた石器を何というか。(2004年 全国公立入試 類似)

1. 石皿 2. 石匙 3. 石斧 4. 石鏃

問2 8世紀初頭、律令国家は平城京への遷都と並行して、大規模な都城建設の財源を確保するため、また国家の権威を示すために、新たな貨幣の鑄造を開始した。武蔵国から銅が献上されたことを契機に発行され、のちに蓄銭叙位令によって流通が促された、この貨幣の名称として最も適当なものを答えよ。(2005年 全国公立入試 類似)

1. 神功開宝 2. 隆平永宝 3. 和同開珎 4. 万年通宝

問3 平安時代中期、娘たちを次々と天皇の后として入内させ、後一条・後朱雀・後冷泉の3代の天皇の外祖父となることで、摂関政治の全盛期を築いた人物は誰か。(2006年 全国公立入試 類似)

1. 藤原頼通 2. 藤原良房 3. 藤原基経 4. 藤原道長

問4 文献史料が残されていない先史時代の日本列島における人々の生活や社会の様子を明らかにするためには、地中から発掘された土器や石器、住居跡などの物質的資料(遺物や遺構)の分析が不可欠である。このような、文字記録に頼らずに具体的なモノの分析を通じて過去の人類の歴史や文化を研究する学問分野を何というか。(2006年 全国公立入試 類似)

1. 人類学 2. 文献学 3. 考古学 4. 民俗学

問5 平安時代の貴族が居住した、中心となる建物と対屋(たいのや)などを渡殿(わたどの)と呼ばれる廊下で結んだ、壁が少なく開放的な住宅様式を何というか。(2025年 全国公立入試 類似)

1. 寝殿造 2. 書院造 3. 合掌造 4. 武家造

問6 奈良時代、律令国家は和同開珎などの貨幣を鑄造し、その流通を促進するために、錢貨を一定額以上蓄えて政府に納めた者に位階を授ける制度を設けた。この制度を何というか。(2005年 全国公立入試 類似)

1. 私鑄錢禁止 2. 蓄銭叙位令 3. 和同開珎 4. 本朝十二錢

問7 10世紀前半、関東における平将門の反乱と、瀬戸内海における藤原純友の反乱という、地方政治の混乱と武士の台頭を象徴する一連の動乱を総称して何と呼ぶか。(2004年 全国公立入試 類似)

1. 承平・天慶の乱 2. 治承・寿永の乱 3. 保元・平治の乱 4. 菅原道真の左遷

問8 律令制下において、50戸から2人の割合で徴発され、都に送られて宮廷や中央官庁での様々な雑務に従事した労役を何というか。(2004年 全国公立入試 類似)

1. 雑徭 2. 仕丁 3. 兵士 4. 防人

問9 平安時代の政治史において、宇多天皇が発した勅書に用いられた中国の官職名に由来する表現をめぐり、藤原基経が反発して政務をボイコットし、最終的に天皇に勅書を撤回させた事件は何か。(2006年 全国公立入試 類似)

1. 承和の変 2. 薬子の変 3. 阿衡 of the 紛議 4. 安和の変

問10 弥生時代中期から後期にかけて、瀬戸内海沿岸や大阪湾周辺などの山頂や丘陵上に営まれた、軍事的な防衛機能や監視機能を持つとされる集落を何というか。(2005年 全国公立入試 類似)

1. 低地性集落 2. 環状集落 3. 環濠集落 4. 高地性集落

問11 平安時代に有力貴族が一族の子弟を寄宿させる私的な施設を設けたのは、律令制下において式部省が管轄した中央の官吏養成機関に通わせるためであった。この官吏養成機関を何というか。(2004年 全国公立入試 類似)

1. 藩校 2. 大学 3. 郷学 4. 国学

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 4 石鏃	縄文時代には、狩猟具である弓矢の普及に伴い、その先端に取り付けるための石器が大量に作られた。この石器の原材料には黒曜石やサヌカイトなどが用いられ、産地から遠隔地へと交易を通じて流通した。
問2	答え 3 和同開珎	708年（和銅元年）に武蔵国から秩父産の銅が献上されたことを契機に、元明天皇の治世下で鑄造が開始された。この貨幣の鑄造目的は、平城京の建設資金（都城建設の造営費用）を賄うことや、律令国家としての権威を内外に示すことにあった。政府は流通を促進するために、錢貨を蓄えた量に応じて位階を授ける蓄銭叙位令を711年に発布した。
問3	答え 4 藤原道長	娘の彰子・妍子・威子らを次々と入内させ、生まれた皇子がそれぞれ後一条・後朱雀・後冷泉天皇として即位したことで、3代にわたって天皇の外祖父となり、摂政や内覧として権勢を極めた。彼の建立した法成寺は、その栄華を象徴する寺院である。白河上皇が設置した北面の武士や、藤原頼通が宇治の別荘を改めた平等院、後白河法皇に伝領された長講堂領などは、彼の事績とは異なる。
問4	答え 3 考古学	文字記録が存在しない、あるいは極めて限られている先史時代などの歴史を解明するためには、地中から発掘された土器や石器などの遺物、あるいは住居跡や貝塚などの遺構といった物質的資料を分析することが不可欠である。このような物質的資料をもとに過去の人類の歴史や文化を研究する学問を考古学と呼ぶ。これに対し、文字による文献史料を主たる研究対象とするのが文献史学であり、伝承や民俗行事などを対象とするのが民俗学である。
問5	答え 1 寝殿造	平安時代の貴族の代表的な邸宅様式であり、庭園に池を設け、釣殿などを配した。室町時代以降に発達し、違い棚や付書院を備えた書院造とは、壁が少なく開放的である点などで大きく異なる。
問6	答え 2 蓄銭叙位令	律令国家は貨幣の流通を促すため、711年に蓄銭叙位令を発布し、錢を貯蓄して政府に納入した者に位階を授けるインセンティブを与えた。しかし、この制度は人々が錢を流通させずに手元に死蔵（退蔵）させる結果を招き、貨幣の円滑な流通をかえって妨げる要因となった。
問7	答え 1 承平・天慶の乱	10世紀前半の承平・天慶年間に、東国（関東）で新皇を自称した平将門の乱と、西国（瀬戸内海）で海賊を率いた藤原純友の乱がほぼ同時期に発生した。朝廷はこれらを鎮圧するために武士を動員せざるを得ず、この一連の動乱は「承平・天慶の乱」と呼ばれ、武士が歴史の表舞台に登場する契機となった。
問8	答え 2 仕丁	律令制下の負担のうち、地方の公民から徴発され、中央の役所で雑務に従事した労役を仕丁という。50戸（1郷）から2人の割合で徴発され、その都での食糧などは郷内の戸が共同で負担した。
問9	答え 3 阿衡 of the 紛議	宇多天皇が即位した際、藤原基経に関白職を授ける勅書の中に「阿衡の職に任ず」とあったことに基経が反発し、政務を拒否した。これにより宇多天皇は勅書を撤回せざるを得なくなり、藤原氏の権勢を示すこととなった。この事件は宇多天皇の在位中に起きたものであり、のちの醍醐天皇の在位中に起きた昌泰の変や唐の滅亡、意見封事十二箇条の提出などとは時期が異なる。
問10	答え 4 高地性集落	弥生時代中期から後期にかけて、瀬戸内海沿岸や大阪湾沿岸などの標高の高い山頂や丘陵上に営まれた集落は高地性集落と呼ばれる。これらは平地から離れて生活には不便な場所にあり、倭国大乱などの戦乱期における軍事的な防衛や監視、あるいは烽火（のろし）台としての機能を持っていたと考えられている。なお、乗馬の風習や須恵器（硬質の土器）は古墳時代になってから朝鮮半島より伝わったものであり、弥生時代には存在しない。
問11	答え 2 大学	律令制下において、式部省の管轄のもとで貴族や郡司の子弟を対象に官吏を養成する中央の教育機関として大学（大学寮）が置かれた。平安時代に有力貴族が設けた大学別書は、この大学に通う一族の子弟の勉学や生活をサポートするための寄宿施設であった。